

令和元年度

「大分市教育実践記録 資料」

大分市立明治小学校

長濱 修司

第1発問と第2発問の構成

大分市立明治小学校

時間	学習活動	主な発問 予想される児童の反応や心の動き	○指導上の留意点 ☆評価につながる見取り
導入 5分	1 道徳的価値についての考えを出し合う。	「(道徳的価値)とは、どういうことだと思いますか。」 「(道徳的価値)が大切と感じるのはどんなときですか。」 めあて (道徳的価値)とは、～か考えよう。	○道徳的価値に関わる発問で、問題意識を高めさせる。
展開 30分	2 教材文を読み、教材の内容について話し合う。(事前や本時)	第1発問につながる発問 「(登場人物)は、どんな思いで～でしょうか。」 「(道徳的価値)なのは、どうしてなのか。」	第1発問
		「(登場人物)は、どんな思いをもっていたと思いますか。」 「(登場人物)は、どんなことに気付いたから、～になったのか。」	
展開 30分	道徳的価値について多面的・多角的に思考する	登場人物の心情や考えを明らかにする発問	☆道徳ノート・ワークシート (自分の考え) ○出された考えを整理、分類して板書し多面的・多角的な思考が促されるようにする。
		第2発問	
		自分の考えや生き方を明らかにしていく発問	
展開 30分	自己の生き方についての考えを深める	第1発問と第2発問において、多面的・多角的な思考を促すために以下の発問を効果的に用いる。 ①深める ⇒ (道徳的価値)とは何ですか？ (道徳的価値)とはどういうこと？ ②追求する⇒ どうしてそう思うの？ どうしてそう思ったの？ ③詳述する⇒ もっと詳しく教えて？ 自分の言葉で説明して？ ④繰り返す⇒ みんなはどう思う？ みんなもそう思う？ ⑤関連する⇒ 自分にも経験ある？	○意図的な話し合いの場面を設定し、全体で考えを共有する。(ペアやグループ)
		第3発問	☆道徳ノート・ワークシート (自分の感じたことや考えたこと) ○自己の生き方についての考えが深められるようにするため、これまでの生活を振り返って考えさせる。
終末 10分	3 めあてについて、自分の考えを振り返る。 深める 自己の生き方についての考えを	「あなたが考える(道徳的価値)とは、どんなことでしょうか。今日の授業を振り返り、自分の感じたことや考えたことを書きましょう。」 自己の生き方についての考えを全員で共有する。 まとめ ○(道徳的価値)とは、～ということ。 ○自分の生き方や考え方は、～ということ。(これからは・・・ 私は～したい。)	

<p>終末 10分</p>	<p>3めあてについて、自分の考えを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 自己の生き方についての考えを深める </div>	<p>「あなたが考える思いやりの心とは、どんなことでしょうか。今日の授業を振り返り、自分の感じたことや考えたことを書きましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを心配して、行動にうつす人のこと。 ・相手のことを大切に思っていること。 ・相手のことを自分のことのように思っていること。 ・相手の幸せを思って行動すること。 ・これからは、思いやりの心で人と接していきたい。 ・思いやりの心の意味が分かったので、私もできることをしたい。 </div> <p>説話</p> <p>思いやりの心はみんなにあります。どうすればあの人のためになるのかと考えてみる。</p> <p>それが、あなたの思いやりです。あなたらしい思いやりの心を育てよう。</p> <p style="text-align: center;">「行為の意味」 宮澤 章二</p> <p>あなたのところはどんな形ですか と 人に聞かれても答えようがない 自分にも他人にもここは見えない けれど ほんとうに見えないのであ ろうか</p> <p>確かにここはだれにも見えない けれどここづかいは見えるのだ それは 人に対する積極的な行為だ から</p> <p>同じように胸の中の思いは見えない けれど思いやりはだれにでも見える それも人に対する積極的な行為なの だから</p> <p>※「行為の意味 青春前期のきみたちに」 出典：ごま書房新社</p>	<p>☆ワークシート (自分の感じたことや考えたこと)</p> <p>○自己の生き方についての考えが深められるようにするため、これまでの生活を振り返って考えさせる。</p>
-------------------	--	--	--

第6学年 道徳科学習指導案

2019.11.20 (水) 校時
6年1組 指導者 長濱 修司

【研究主題・副題】

自己の生き方についての考えを深める道徳科授業の構想
～多面的・多角的な思考を促す発問を通して～

【研究仮説】

道徳科において、多面的・多角的な思考を促す発問を取り入れた授業展開を行えば、様々な感じ方や考え方に触れ、道徳的価値の理解を深め、自己の生き方についての考えを深めることができるであろう。



【授業仮説】

多面的・多角的な思考を促す発問にかかる学習過程において、登場人物がどんな思いで最後のひと葉を描くことができたのかを考えたり、一人一人が考える思いやりとはどんなことなのか自分の生き方を振り返ったりしながら深く考えることにより、親切な行為は、人のことを自分のことのように大切に思う心から生まれ、自分にできる精一杯のことをしようとする道徳的実践意欲を育てることができよう。

1. 主題名 相手を思う、とうとい心 [B親切, 思いやり]
2. 教材名 「最後のひと葉」(小学道徳 ゆたかな心 出典: 光文書院)
3. 主題のねらい 親切な行為は、人のことを自分のことのように大切に思う心から生まれることが分かり、自分にできる精一杯のことをしようとする道徳的実践意欲を育てる。
4. 主題設定の理由
(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。」をねらいとしている。これは、中学年「相手のことを思いやり、進んで親切にすること。」を受け、中学校[思いやり、感謝]で「思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。」につながっていく。人間にとって、相手の立場に立って考えたり、相手の困難を想像し、共感したりすることは、親切心や、思いやりの心を形成する基盤となるものである。思いやりとは、相手の気持ちや立場を考え、相手を受け入れたり、相手に共感したりすることである。そして、思いやりをもって相手が必要として

いることを実際に行う行為が親切である。人の思いは、目には見えない。しかし、誰に対しても自分の思いを言葉にして表したり、行動に現したりして表現すると相手に伝わることもある。その思いを受けて、相手がどんな状況なのかを感じたり、考えたりすることを通して、どのようにすれば相手のためになる行動ができるか、相手のためになる対処ができるのか、よく考えることが必要になってくる。その相手が自分にとって苦手な人だとしても、同じ人間として助け合うことは当然だと考える。人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、思いやりの心とそれに伴った親切の行為を、損得勘定なく児童が接する全ての人に広げていくことが大切である。そのような思いが生み出した行為は、人の心を動かしたり、前向きに生きようとする原動力になったりすることもある。高学年の児童には、親切な行為は、人のことを心配し、自分のことのように大切に思う心から生まれることや、人を思う心が自分にもあることを自覚し、人に対して自分にできる精一杯のことをしようとする道徳的実践意欲を育てていくことが必要である。

(2) ねらいからみた児童について

本学年部の多くの児童は、低学年や高齢者、友達に対して進んで親切にしようとしている。しかし、相手の気持ちや状況を考えた上での行為ではなく、自分の価値判断で助けたり声をかけたりし、相手にとっては親切になっていない場合もある。高学年になると、相手の立場に立って物事を見ることができるようになり、相手の気持ちを察することができるようになる。また、どのような行動が思いやりになるか考え、ときにはそっとしておいたり、逆に厳しい言葉をかけたりすることも相手のことを心から思うことにつながることも理解できるようになる。これは、相手の喜びを自分の喜びとして受け止める心が育ってきているからである。このような実態から、相手を心から思う思いやりについて、自分もそのような心をもっていることについて考えさせるよい時期である。

このような児童の実態に対して、本校高学年の重点指導項目である [B 親切, 思いやり] において、親切な行為は、人のことを自分のことのように大切に思う心から生まれることが分かり、自分にできる精一杯のことをしようとする道徳的実践意欲を育て、自己の生き方についての考えを深めさせていきたいと考えている。

(3) 教材について

本教材は、相手を思う尊い心や、生命の尊さとそのつながりについて考えるきっかけをつくることができる。ベアマンは、病気で生きる気力を無くしているジョンジーのために、嵐の中でつたの葉の絵を描き、翌日そのつたの葉を見たジョンジーは徐々に生きる希望を取り戻していく。ベアマンは、結果的に肺炎を患って亡くなるが、嵐の中で絵を描くという行為に駆り立てたのは、生きる気力を失ったジョンジーを心から心配し、大切に思う心である。スウの行為からも同じ心があることが分かる。二人のジョンジーに対する行為や、生きる希望を徐々に取り戻したジョンジーの姿から、相手のことを思う心から行為が生まれていることに気付くことができる教材である。

5.指導について

親切と思いやりの関係は、行為と心として表すことができる。親切な行為は、相手のことを自分のことのように大切に思う、思いやりの心から生まれる。ベアマンとスウの行為は異なるが、思いやりという共通の心から生まれた行為だったからこそ、ジョンジーを勇気づけ、支えとなり、風前の灯だった命を救うことができたと考えられる。本時では、二人の行為の意味を問うことで、その行為を支えた思いやりの心に目を向け、行為と心の関係が大切であることを、授業を通して深めさせていきたい。

導入では、自分たちがもっている思いやりの心についての考えを出させ、話し合いに生ずようにする。「思いやりの心とは、どういう心のことだと思いますか。」と問い、道徳的価値に関わる発問で問題意識を高めさせるようにしたい。

展開では、ねらいとする道徳的価値についての理解を深めるために、教材の内容について話し合う必要がある。そのため、一つ目の発問では、「ベアマンは、最後のひと葉をかこうとしたとき、どんな思いをもっていたと思いますか。」と問い、ベアマンの心情や考えを明らかにしていく。次に、二つ目の発問では、親切な行為は、人のことを自分のことのように大切に思う心から生まれることが分かり、自分ができる精一杯のことをしようとするということについて考えさせるために、「ベアマンは、どうして傑作をかくことができたのか。」という状況について中心に考え、より一層多面的・多角的な思考を促しながら価値理解を深めさせたい。その際、思いやりの心の意味をどう捉えているのか考えさせていく。

終末では、「あなたが考える思いやりの心とは、どんなことでしょうか。今日の授業を振り返り、自分の感じたことや考えたことを書きましょう。」と投げかけ、場面・対象を広げながら、ワークシートに自分の考えを深めたか、または、これから深められていけそうかを書かせていく。誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることを理解させていきたい。

6.研究とのつながり

(1) 道徳的価値について多面的・多角的な思考を促す発問

親切な行為は、人のことを自分のことのように大切に思う心から生まれることを理解させるために、「ベアマンは、最後のひと葉をかこうとしたとき、どんな思いをもっていたと思いますか。」「ベアマンは、どうして傑作をかくことができたのか。」とした。【自分の思い】【ジョンジーへの思い】【思いやりの心】の側面から道徳的価値について深めさせ、親切な行為を支える価値が話し合いの中で児童の発言から出てくると考えた。よって、物事を一面から捉えるのではなく、様々な視点から物事を理解し、自分との関わりで考えていくことができる。

(2) 自己の生き方についての考えを深める

「あなたが考える思いやりの心とは、どんなことでしょうか。今日の授業を振り返り、自分の感じたことや考えたことを書きましょう。」とした。授業を通して思いやりの心とはどういう心のことなのか、今までの生活を振り返ったり、これからの生き方を考えたりするために、ワークシートに自分の考えを整理させ、全体で考えを共有していくようにする。

7.本時における評価につながる見取り

検証児を C1, C2, C3 とし、道徳的価値について多面的・多角的な思考が促されていくことで、自己の生き方についての考えを深めることができていたかを見取っていく。そこで研究を進めるに当たって、「自己の生き方についての考えを深め、これからの生き方につなげていこうとしているか。」という観点で見取りを進める。事後アンケートについては、三つの質問項目を、◎よくできた○できた△もう少しの三件法で自己評価をする。事後アンケートを数値化することで、検証授業の成果と課題に生かしていきたい。具体的には、クラス全体の児童を対象として実施する。①は、道徳的価値の理解を深めることができたかを見取る。②は、多面的・多角的な思考が促されていたかを見取る。③は、自己の生き方についての考えを深めることができたかを見取る。ただし、数値による道徳性の評価を行うことではない。授業後の聞き取りインタビューでは、検証児に対してのみ行う。書くことが苦手な児童もいるため、「今日の授業で何を学びましたか。」「ワークシートに、～と書いていたけれど詳しく教えて。」と質問すれば、授業では見取れなかった考えを引き出せるのではないかと考えた。

視点	質問項目	対象	方法
児童は、道徳的価値の理解を深めることができたか。	①「道徳的価値の言葉」について自分の考えをもった。	全員	事後アンケート
児童は、多面的・多角的な思考が促されていたか。	②自分とは違う友達の考えのよさを見付けた。	全員	事後アンケート
児童は、自己の生き方についての考えを深めることができたか。	③これからの生活に（続けて）生かしてみようと思った。	全員	事後アンケート

8.本時案

時間	学習活動	主な発問 予想される児童の反応や心の動き	○指導上の留意点 ☆評価につながる見取り
導入 5分	1 思いやりの心についての考えを出し合う。	「思いやりの心とは、どういう心のことだと思いますか。」 ・人に優しくする心のこと。 ・困っている人を助ける心のこと。 ・何かしてあげようと思う心のこと。	○道徳的価値に関わる発問で、問題意識を高めさせる。
めあて 思いやりの心とは、どういう心のことか考えよう。			
展開 30分	2 教材の内容について話し合う。	「スウは、どんな思いでジョンジーを看病していたのでしょうか。」 ・早く元気になってほしい。 ・できることをしてあげよう。 ・何をしてあげたらいいの。 ・心配で心配でたまらない。	○ワークシート (自分の考え) ○出された考えを整理、分類して板書し多面的・多角的な思考が促されるようにする。
	道徳的価値について多面的・多角的に思考する	<div data-bbox="576 904 1241 987" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ベアマンは、最後のひと葉をかこうとしたとき、どんな思いをもっていたと思いますか。</div> <div data-bbox="1082 846 1241 898" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">第1発問</div> <p>【自分の思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わしも傑作をかきたい。みんなでここを出ていこうという思い。 ・わしの絵で元気にしたい。 <p>【ジョンジーへの思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわいそうな娘だ。 ・善良な人間が寝ている所ではない。 ・ジョンジーを大切に思っている。 ・命を大切にしてほしいという思い。 <p>【思いやりの心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョンジーを大切に思っている。 ・いてもたってもいられなくなった。 ・自分のできることをしたい。それが、ジョンジーのためになる。 ・自分にできることを、一生懸命にしよう。 	
<div data-bbox="464 1608 624 1980" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">自己の生き方についての考えを深める</div>		<div data-bbox="635 1621 1295 1693" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ベアマンは、どうして傑作をかくことができたのか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョンジーへの思いやりが入っているから。 ・自分のことを忘れるぐらい、ジョンジーを助けたかったから。 ・自分の力を出し切ったから。 ・人のために絵をかきたいと思ったから、結果として傑作になった。 	○意図的な話し合いの場面を設定し、全体で考えを共有する。(ペアやグループ)

思いやりの心とは・・・ 人にやさしくする心 困っている人を助ける心

めあて

思いやりの心とは、どういう心のことか考えよう



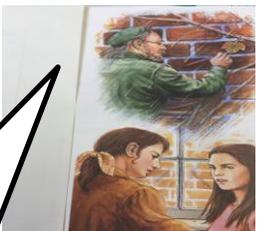
- スウのジョンジーへの思い
- 早く元気になってほしい
- スウにできることをしてあげよう
- 心配で心配でたまらない

課題

ベアマンは、最後のひと葉をかこうとしたとき、どんな思いをもっていたと思いますか。

「自分の思い」

- わしもけっさくをかきたい
- みんなで行こう
- わしの絵で元気にしたい



「ジョンジーへの思い」

- かわいそうな娘だ
- ぜんりょうな人間が寝ているところではない
- ジョンジーを大切に思っている
- 命を大切にしてほしいという思い
- 生きる気持ちをもってほしいという思い

「思いやりの心」

- いてもたってもいられない思い
- 自分のできることをしたい、それがジョンジーのためになる
- 自分にできることを一生けん命にしよう

- ジョンジーへの思いやりが入っているから
- 自分のことを忘れるぐらい、ジョンジーを助けたかったから
- 自分の力を出し切ったから
- 人のために絵をかきたいと思ったから

まとめ

- 相手のことを心配して、行動にうつすこと。
- 相手のことを大切に思っていること。
- 相手のことを自分のことのように思っていること。
- これからは、思いやりの心で人と接したい。
- 思いやりの心で、できることをしたい。

「行為の意味」 宮澤 章二

あなたのころはどんな形ですかと 人に聞かれても答えようがない
 自分にも他人にもころは見えないけれど ほんとうに見えないのであるうか
 確かにころはだれにも見えない けれどころづかいは見えるのだ
 それは 人に対する積極的な行為だから 同じように胸の中の思いは見えないけれど
 思いやりはだれにでも見える それも人に対する積極的な行為なのだから

「行為の意味 青春前期のきみたちに」より一部ばっすい





第 回「最後のひと葉」

十二月二十日（水）

六年一組（ ）番 名前（ ）

課題

Blank writing area for the assignment.

自分の考え

Writing area for '自分の考え' (My thoughts), featuring a solid top line and dashed lines below.

自分の感じたことや、考えたこと

Writing area for '自分の感じたことや、考えたこと' (What I felt or thought), featuring a solid top line and dashed lines below.



③	これからの生活に（続けて）生かしてみようと思った。		◎
②	自分とはちがう友達の考えのよさを見つけた。		○
①	「思いやりの心」について自分の考えをもった。		△
「最後のひと葉」を振り返ってみよう			

◎ よくできた
○ できた
△ もう少し

